

イスラエル経済月報（2020年9月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 栗田 宗樹）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標.....	6
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 為替（Exchange Rate）	
6. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
7. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	10
スタートアップ イスラエル・ハイテク産業の上半期の成功は幻想	
イスラエル-中国 イスラエルの成功したスタートアップのほとんどは中国でビジネスをしていない	
天然ガス 東地中海ガスフォーラムが国際機関に。イスラエルも原加盟国に。	
日本-イスラエル 経済関係.....	13
投資 2020年上半期日本からイスラエル・ハイテクへの投資は前年並	
プラバシ技術 サムライインキュベーターが QPrivacy 社に投資	
自動車 豊田通商が Aurora Labs 社に投資	
ベンチャー Bambi Dynamic 社がシリーズ A 資金調達。MS&AD ベンチャーズ等がリード。	
イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定（目次掲載は主要なもののみ）	17
NEW 食品 ISRAEL CULINARY SHOW 2020（2020年10月27～28日、オンライン）	
NEW 水 DIGITAL WATER ISRAEL VIRTUAL EXPO（2020年11月10～11日、オンライン）	
日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） ..	22
NEW オープンイノベーション AT PARTNERS JAPAN ISRAEL OPEN INNOVATION SUMMIT（2020年10月22日、オンライン）	
NEW オープンイノベーション JIIN イスラエル オープンイノベーション WEB セミナー～“タルピオット”からみるイスラエル・エコシステム～（2020年10月28日、オンライン）	
NEW スタートアップ KGAP+ DAY - BATCH 3 DEMO-DAY（2020年10月28日、オンライン）	
NEW スタートアップ KGAP+ ISRAEL CHALLENGE（2020年11月2日、オンライン）	
NEW 知財 第1回和歌山県知的財産経営戦略セミナー『海外展開に伴うリスクとその対策』（2020年11月4日、オンライン）	
NEW イベント イスラエルを知るセミナー（2020年11月12日、オンライン）	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1 日 UAE をイスラエル政府の使節団が訪問。外交、金融、科学技術、観光、文化、農業、サイバーセキュリティ/インテリジェンスの各分野でワーキンググループを立ち上げる。また、両国政府は、銀行・金融に関する MOU を締結。両国は互いに SWIFT で接続され、これにより銀行間の直接の国際送金が可能となる。
- 1 日 UAE の航空会社二番手エティハド航空がイスラエルでのチケット販売を開始。
- 1 日 ベングリオン空港の PCR 検査施設の入札を Omega Institute が落札。費用は 1 人当たり 44.88NIS で、結果は 14 時間以内に交付。45 日以内に運営が開始される。
- 1 日 保健省は、隔離なしでの帰国が可能な「グリーン国」に、新たに濠、アイルランド、ポルトガル、ノルウェイ、シンガポール、タイ、台湾、UAE を追加。
- 1 日 安川電機のイスラエル研究開発センターが、新型コロナウイルス検査を実施できるロボットシステムを開発。イスラエル国防軍の検査ラボに納入済み。
- 1 日 NEC が投資した AI チップメーカー Hailo Technologies 社が日本支社を設立したことを発表。元ソニーの内田裕之氏が社長に就任。アジア太平洋事業を強化する。
- 1 日 運輸・道路安全省は、公道での自動運転の実証実験に関する規制案を公表。サイバーセキュリティに関する要件や緊急時の対応、保険への加入等を定めている。
- 1 日 イスラエルのフィンテック企業 Payoneer 社が世界で 300 名の新規採用を行う。新型コロナウイルスにより、オンライン送金やデジタル決済の需要が拡大したため。
- 2 日 サウジアラビアが、イスラエル-UAE 間の全ての航空機の上空通過を許可。これにより、イスラエルから UAE のみならず東への航路の所要時間が大幅に短縮される。
- 2 日 イスラエルの人権団体が、デジタルフォレンジック企業 Cellebrite 社の香港への製品輸出を国防省が差し止めるべきと裁判所に請願。当局に逮捕された民主活動家等の携帯電話 4 千個に同社の技術が使用されたと主張している。
- 3 日 エル・アル航空救済について、当初予定されていた新株発行期限 8 月 31 日を徒過し、財務省は新たな以下の計画を策定。①同社は 9 月 10 日までに 1.5 億ドル相当の新株を発行。②他に買手がいない場合、国が過半数を引き受け、これにより国は同社の株式 45% を保有する。③国は当該株式を 24 か月以内に売却。同社は買手を指定できない。④これらを条件とし、2.5 億ドルの融資に政府保証を付ける。
- 3 日 国際物流大手 DHL が、テルアビブ-ドバイ間の初の直通貨物便を運航した。
- 7 日 イスラエルが国際自動車工業連合会に加盟。旅客自動車メーカーを持たない国として唯一の参加。Israel Vehicle Importers Association が代表を務める。
- 8 日 イスラエルと韓国の FTA が数週間以内に署名される可能性。FTA が発効すれば、韓国生産の自動車への 7% の課税が撤廃される。2020 年上半期、ヒュンダイやキアはイスラエルの新車販売の 27% を占める。2018 年、韓国からの自動車及び関連部品の輸入は 7.78 億ドル、韓国からの輸入の 44% を占める。
- 8 日 香港の Hutchison 社が、イスラエルの通信大手 Partner 社の支配権獲得を断念。当局に許可を申請していたが、審査は数か月間棚ざらしにされていた。

- 8日 国防省・財務省・ヘブライ大学が、120万ドルをかけ、新型コロナウイルスの新たな研究所を同大学内に設立する。今年後半に活動開始予定。
- 8日 ハイファの免疫モニター企業 MeMed Diagnostics 社が、バクテリア性感染症かウイルス性かを見分ける検査の商用化に向け、伊の診断技術企業 DiaSorin 社と提携。
- 8日 ヴァージン・アトランティック航空が6か月ぶりにテルアビブ-ロンドン便を再開。ユナイテッド航空もテルアビブ-シカゴ便を再開。
- 9日 イズレール航空は10月2日からテルアビブ-ドバイ便を就航予定。UAEからの許可待ち。サウジアラビア上空を通過する3時間半の空の旅となる予定。
- 9日 イスラエル・中国 FTA が合意間近と見られる。米国大統領選の後になるか。
- 9日 イスラエルの法律事務所 Herzog Fox & Neeman が、UAE での事務所開設を検討。コンサル企業を通じて、既に15年 UAE 関連事業を実施しているという。
- 9日 イスラエルのフィンテック企業 Salaryo 社は、株式と借入で580万ドル資金調達。株式での資金調達は、UAE の PE・VC ファンド KEN Investments がリード。
- 10日 グーグル子会社のカーナビアプリ Waze 社が、新型コロナウイルスによる交通量減少で、従業員555名の5%30名をレイオフする。アジアと南米の事務所も閉鎖。
- 10日 イスラエルの土壌データ分析企業 CropX 社が、ニュージーランドに拠点を置く灌漑意思決定支援ツールの Regen 社を買収すると発表。
- 11日 イスラエルとバーレーンが国交正常化に合意。米国が仲介。大使館の相互開設のほか、直行便の就航、医療やビジネス等での協力について合意。
- 11日 イスラエルの大病院 Sheba Medical Center がアブダビの投資ファンド APEX National Investment と MOU を締結。UAE からの医療ツーリストに期待。
- 13日 UAE の Mohamed Bin Zayed 人工知能大学とイスラエルのワイツマン研究所が AI に関する協業に向けた MOU を締結。両国高等教育機関間で初の MOU。
- 13日 匿名の情報筋によると、シンガポールの国営企業 Temasek Holdings がイスラエルの小規模灌漑企業 Rivulis Irrigation 社の85%の株式を3.65億ドルで取得する。
- 13日 匿名の情報筋によると、イスラエルの公共交通機関におけるアプリでのデジタル決済が、早ければ今年中に開始予定。6月開始予定が、プライバシー懸念で遅延。
- 13日 アブダビの匿名の投資家が、エルサレムのサッカーチームへの投資を検討。
- 14日 イスラエル政府は、9月18日から3週間強の外出制限措置を決定。食料品店や医薬品店等を除く一般客向け店舗の閉鎖や教育機関の閉鎖のほか、自宅から一定距離以上の外出を禁止。ベングリオン空港は閉鎖されない。
- 14日 Leumi 銀行が率いるイスラエル企業のビジネスデリゲーションが UAE を訪問。同銀行のほか、投資ファンド、エネルギー、インフラ、保険、航空会社が参加。
- 15日 米国で、イスラエルが UAE 及びバーレーンと国交正常化合意文書に署名。
- 15日 ドバイに拠点を置く物流・海運大手 DP World 社がイスラエルの Shipyards 社と協業契約を締結。両社はハイファ新港の入札に共同で応札すると見られている。
- 15日 テルアビブ・ライトレールのグリーンライン及びパープルラインの建設・運営の入札にアルストムや中国港湾工程、ボンバルディア等5つのコンソーシアムが応札。
- 16日 アブダビの政府投資促進機関 Abu Dhabi Investment Office がテルアビブに事務所を開設すると発表。同機関初の海外拠点となる。

- 16日 エル・アル航空が1.5億ドルの新株を発行し、Eli Rozenberg氏の企業 Kanfei Nesharim 社が株式総数42.89%に当たる株式を購入。買手のない分は国が引き受け、持分は12~15%に。買収に意欲を示した3人のうち Rozenberg 氏のみ応札。
- 16日 情報筋によると、サウジアラビア-イスラエル間にパイプラインを建設し地中海から欧米に原油を輸出する計画についての支持を、イスラエル政府が UEA に提案予定。
- 17日 暗号資産（仮想通貨）に係る詐欺に遭ったとして、3名の日本人投資家が、著名起業家 Moshe Hogeg 氏、同氏が率いる Singulariteam 社等をテルアビブ地裁に提訴。
- 17日 アルキア航空は従業員530名中130名をレイオフへ。残る従業員も給与カット。
- 17日 イスラエルのウェブサイト作成企業 Wix 社が VC 設立を公式に発表。昨年来、シード・アーリー期のソフトウェアスタートアップ等に560万ドルを投資済。
- 21日 イスラエルの Shipyards 社のオーナー Shlomi Fogel 氏が、イスラエルのハイテク企業に投資する湾岸諸国のビジネスパーソン向けファンドを設立した。
- 21日 テルアビブ市が、バス会社 Dan Bus 社及び自動車無線給電企業 Electreon 社と共同で、実証のために、バス向けの600メートルの無線給電道路の敷設を開始。
- 22日 2017年設立の東地中海ガスフォーラムを国際機関とする協定に、エジプト、イスラエル、ギリシャ、キプロス、ヨルダン、パレスチナ自治政府、イタリアが署名。
- 22日 経済セーフティネットを拡大する案を内閣が承認。コロナ禍で売上が25%以上減少した事業者への補償金や減税等を主たる内容とし、105億NIS規模。あわせて、クネセットの議員及び大臣の報酬10%カットも。
- 22日 ドバイの不動産・ホテル・航空の Al Habtoor 社がイスラエル事務所開設を発表。情報筋によると、イスラエルの Ampa Group と不動産・ホテル業での協業も視野。
- 22日 イスラエル競争庁は公表したレポートで、イスラエルの銀行がフィンテック企業に不当な条件を課し、市場参入を阻害していると指摘。
- 22日 イスラエルの NPO Start-Up Nation Central とインドの政府系機関 International Center for Entrepreneurship and Technology(iCreate)が、両国間のスタートアップ・イノベーション協力に向けた MOU を締結。
- 22日 テルアビブ市は環境に悪い自動車の乗入禁止を検討中。現在、エルサレムとハイファでは特別なフィルターを装着しないディーゼル車は乗り入れ出来ないが、テルアビブは2022~25年の間に段階的に規制を強め、最終的には電気自動車等の乗入れのみを認める方針。
- 23日 イスラエルの車載ソフトウェア開発 Aurora Labs 社がシリーズ B で2,300万ドルを資金調達。韓国 LG グループの CVC 等がリードし、豊田通商やポルシェも参加。
- 23日 モービルアイが UAE の Al Habtoor Group と戦略的協力に向けた MOU を締結。ドバイでの自動運転試験を開始し、2023年までに MaaS サービス提供を目指す。
- 23日 Sheba Medical Center のイノベーションセンターと Newsight Imaging 社が設立したスタートアップが、開発した新型コロナウイルスの迅速な検査方法の提供に向け、欧州の23空港で保安業務を担う ICTS Europe 社と基本合意書を締結。
- 24日 イスラエルと UAE のエネルギー大臣が会談。エネルギー、インフラ、石油・天然ガス、再生可能エネルギー分野への投資機会について協議したほか、エネルギーやサイバーセキュリティ分野のテクノロジーについても議論。

- 24日 UAEのエンジェル投資家協会とイスラエルの投資銀行・VCのTel Aviv Capitalがパートナーシップ契約を締結。国交正常化発表の前から協議をしていたという。
- 24日 イスラエル航空工業（IAI）の民営化に道筋。政府情報筋によると、翌週の政府民営化委員会で株式公開に関する骨子が承認される予定。
- 24日 エル・アル航空は、実質的な買収者はEli Rozenberg氏の父親のKenny氏であり、イスラエル人であるという条件を満たさないとして、政府に買収阻止を要請。
- 24日 中国の吉利汽車が、モービルアイの自動運転技術を、来年発売の電気自動車に採用することを発表。吉利汽車参加のボルボとの協業にも期待が寄せられる。
- 26日 イスラエルとレバノン、ユダヤ暦の大型連休終了後に、海洋境界画定のための直接対話を開始する。米国が仲介。境界が画定すれば、天然ガス掘削本格化が期待。
- 29日 イスラエルとUAEの産業大臣が会談。3週間以内に包括的協定に署名することを視野に、両国の経済産業省間で合同チームを設立することで合意。
- 29日 UAEのエンジェル投資家協会とイスラエルの投資銀行・VCのTel Aviv Capitalがパートナーシップ契約を締結。国交正常化発表の前から協議をしていたという。
- 29日 情報筋によると、公営企業庁はEli Rozenberg氏の企業Kanfei Nesharim社がエル・アル航空の支配権を握ることを承認する予定。
- 29日 エル・アル航空が旅客便を再開。ロンドン行きを再開し、今後順次アテネやNY、マニラ行きの便等を順次再開していく。
- 29日 イスラエル中央銀行と民間銀行は、融資の返済猶予措置の期限を10月末から12月末に延長することを発表。3月以降、約74万件95億NIS相当の融資が猶予中。
- 30日 イスラエルのライドシェア企業Via Transportation社が、同国の自動車フリートマネージメントスタートアップFleconomy社を数千万ドルで買収見込み。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

● 2020年第2四半期の成長率は年率マイナス29.0%（二次推計）

中央統計局は、2020年第2四半期の成長率（二次推計）が年率マイナス29%だったと発表した。一次推計から0.3%下方修正。第1四半期のマイナス6.8%とあわせると、上半期では年率マイナス10.2%となった。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/doclib/2020/295/08_20_295t1.pdf)

2. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

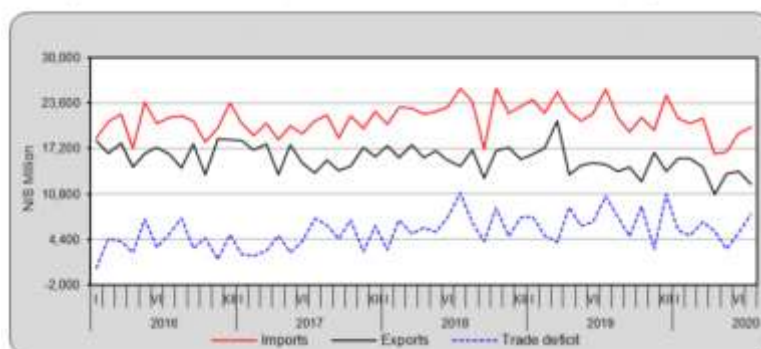
● 8月の貿易赤字は74億NIS

中央統計局の発表によれば、2020年8月の物品輸入は199億NIS、物品輸出は125億NISであり、貿易赤字は74億NISであった。

物品輸入の45%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、24%が消費財、16%が機械装置、陸上輸送機だった。残り15%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。物品（船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く）の輸入は直近3カ月で年率4.2%増加。

鉱工業製品の輸出が全体の86%を占め、13%がダイヤモンド、残り1%が農林水産品。物品（船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く）の輸出は直近3カ月で年率8.5%減少。工業製品輸出のうち37%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率0.5%増加。

Diagram 1 - Imports, Exports and Trade Deficit in Goods (original data)



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2020/282/16_20_282e.pdf)

3. 失業率 (UNEMPLOYMENT RATE)

- 8月の失業率は5.4%前月比増。一方で、新型コロナ関連の休職者は減少。

中央統計局は、2020年8月の失業率は5.4%であり、前月比0.3%増だったと発表。その他、新型コロナウイルス等に関連した労働関係のデータは以下のとおり。

	2020年7月	2020年8月
失業者 (率)	209,300人 (5.1%)	223,400人 (5.4%)
新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数 (率)	421,900人 (10.3%)	406,200人 (9.8%)
3~7月の間に解雇又は職場の閉鎖により労働をやめて労働人口にカウントされない人+新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数 (率)	496,600人 (11.9%)	467,900人 (11.2%)
3~7月の間に解雇又は職場の閉鎖により労働をやめて労働人口にカウントされない人+ほかの理由で労働をやめて労働人口にカウントされない人又は従前から働いておらず働きたいと思っはいるが新型コロナウイルスのせいで前月職探しをしていない人+新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数 (率)	513,200人 (12.3%)	485,800人 (11.6%)

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2020/303/20_20_303e.pdf)

4. 消費者物価指数 (CPI)

- 8月期のCPIは前月比同

中央統計局の15日の発表によれば、2020年8月期の消費者物価指数は前月比同。

特に価格上昇が著しかったのは、文化・娯楽(1.9%高)、生野菜(1.2%高)。一方、特に価格下落が著しかったのは、被服・履物(2.2%低)、生果物(1.2%低)、通信費(1.0%低)。

過去12か月間では0.8%下落、年初からだとも0.6%下落で、イスラエル中央銀行が年間のターゲットレンジとしている1%~3%を大きく下回る。

中央統計局は、6-7月期の住宅価格指数も公表。5-6月期に比べて1.0%上昇した。前年同期比では2.9%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2020/293/10_20_293e.pdf)

報道 Globes (<https://en.globes.co.il/en/article-cpi-unchanged-in-august-home-prices-continue-rising-1001342882>)

5. 為替 (EXCHANGE RATE)

● 9月の為替相場は歴史的シェケル高に

2008年7月以来の対ドルシェケル高となった8月末の為替市場から一転、9月は、イスラエル国内における新型コロナウイルス感染拡大及び再度の経済封鎖への懸念並びに世界的株安によって安全資産であるドル買いが進んだことから、ほぼ一貫してシェケル安が進行。9日に心理的閾値である1ドル3.40NISを超えると、その後1ドル3.40NISを下回ることはなかった。

中旬には、UAE及びバーレーンとの平和条約締結への好感等を受け一時シェケル高方向に転じたものの、再度の経済封鎖が実施されると、経済への悪影響への懸念から再びシェケル安が進行。24日には3か月ぶりのシェケル安水準となった。

しかし、月末になるとややシェケル高展開となり、1ドル3.50NISや3.60NIS水準を望む輸出業者の期待は裏切られた。



出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/market.tag>)

グラフ出典：中央銀行・9月のドルシェケル相場推移 (<https://www.boi.org.il/en/Markets/ExchangeRates/Pages/Chart.aspx?CurrencyId=3&DateStart=01%2F09%2F2020&DateEnd=30%2F09%2F2020&webUrl=%2Fen%2FMarkets%2FExchangeRates>)

6. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● 8月末の外貨準備高は1,617億ドル。引き続き歴史的水準。

中央銀行による発表によれば、8月末時点の外貨準備高は、前月比40億ドル増となる1,617億ドルであった。現在、外貨準備高はGDPの40.6%を占める。

増加の要因は、中央銀行による外貨購入(25.61億ドル)、評価替(16.77億ドル)、民間移転(2.91億ドル)。一方、政府移転(5.04億ドル)による一部減少も見られた。

出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/07-09-20.aspx>)

7. 主要株価推移 (TA35)

● 月間推移

Trading Chart - TA-35

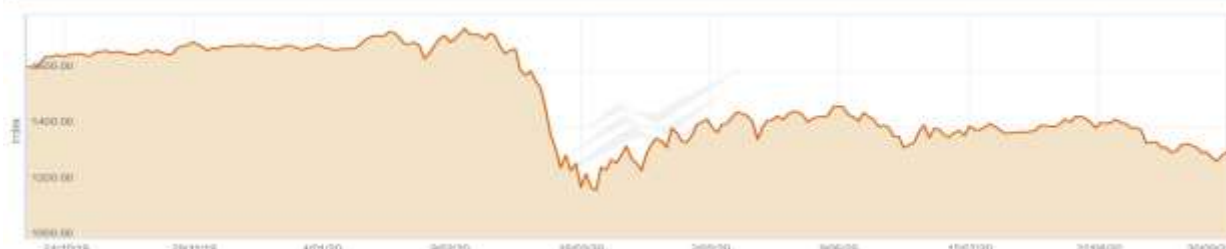
01/09/2020 - 30/09/2020



● 年間推移

Trading Chart - TA-35

06/10/2019 - 30/09/2020



● 9月のテルアビブ証券取引所 (TASE) 関連ニュース

15日, TASE はクリーンテックに関するインデックス TA-Cleantech を創設。再生エネルギー関連等の TASE 上場企業 12 社から構成されるインデックス。

出典 : テルアビブ証券取引所 (<https://www.tase.co.il/en>)

イスラエル経済関係記事

スタートアップ イスラエル・ハイテク産業の上半期の成功は幻想

Cukierman & Co. Investment House を設立し、27 年間インベストメント・バンカーとして活動してきた Edouard Cukierman 氏は、Catalyst Funds のマネージングパートナーでもあるが、多くの人がイスラエルのハイテクは新型コロナウイルスに影響を受けていないと考えてることに警鐘を鳴らしている。

同氏は語る。「残念なことに、多くの投資案件が最近なされたものであるという幻想がある。今年上半期イスラエルのハイテク企業は 52.5 億ドルを資金調達した、一方 2019 年全体で 80 億ドルだった。上半期がこのような素晴らしい結果だったのだから、イスラエルのハイテク産業は新型コロナウイルスの打撃を受けていないと考えるかもしれない。しかし、投資銀行として、我々は投資案件の開始から完了までには平均 9 か月かかることを知っている。つまり、今年上半期に完了した案件の全てが、新型コロナウイルスの到来前に開始されていたものということになる。」

同氏は、海外投資家がイスラエルに来ることができないせいで、海外からの資金流入に頼っているイスラエルのハイテク市場が痛手を受けることになると考えている。「上半期の結果が良かったことは、将来に対する何の示唆にもならない。もし私が米国の投資家でイスラエルに来ることを禁じられていたとするならば、イスラエルには投資しないだろう。デューデリジェンスなしで投資することはない。今年上半期に完了した案件の全てで、デューデリジェンスはパンデミック前に終わっていた。イスラエル政府はハイテク業界に 5 億 NIS (約 1.46 億ドル) の資金を注入する計画だが、上半期の投資額が 50 億ドルだったことを考えると、不十分である。米国、欧州、中国と異なり、イスラエルの国内市場は小さいため、海外に出て行く必要がある。しかし、イスラエルは (新型コロナウイルスの状況に関し) レッド国であるため、イスラエル人が海外に行くのは難しく、外国投資家はイスラエルに来るなんて馬鹿げたことは禁止されている。」

出典：報道 CTech by Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3849111,00.html>)

イスラエル-中国 | イスラエルの成功したスタートアップのほとんどは中国でビジネスをしていない

イスラエル・スタートアップが世界市場に進出する支援をするために開催されたオンライン・カンファレンス Go Global Forum で、Viola Ventures のジェネラル・パートナー Ronen Nir 氏は、近年イスラエル企業が調達する資金が大きく増えている一方、「投資についてみれば、中国企業は依然として比較的マージナルなプレイヤーである」と語った。「ここ数年イスラエルで成功した 30 のスタートアップのうち、中国と（2,500 万ドル以上の売上をあげる）大きな取引を持った企業はわずか 4 社にすぎない。一方、100%が米国に重要なプレゼンスを持っている。」同氏はまた、イスラエル企業にとっての中国におけるチャンスとリスクについても語った上で、中国での成長が期待できる主要な領域として自動車とヘルスケアを挙げた。

Pearl Cohen 法律事務所のハイテックグループのパートナー Guy Lachmann 氏は述べた。「米中経済関係が悪化するにつれ、中国由来の資金を受け取るイスラエル企業への複雑な制約は増すだろう。そのせいで、企業は現在難しいジレンマを抱えており、中国から資金調達をしたせいで、米国市場での活動能力に深刻なダメージを被るかどうか、又は完全にドアが閉められすらするかもしれない、というところまで来ている。」

Flint Capital のプリンシパル Adi Levanon 氏は、中国のファンドから投資を受けるかどうかを決めるとなった際に、定まった解はないと述べた。「中国のファンド企業がどのようなところか、そして自社の知的財産についてどのくらい問題ある要求をしてくるかによる。10%以下なら、多くの投資家は何も言わないだろう。もしもっと多く、40~50%となってくると、話は全く違ってくる。」

Shenzhen Capital Group が管理する West Fountain Global Fund は中国国外で 6 億ドル相当の投資を実行済だが、そのベンチャー・パートナー Yoram Yaacovi 氏は、貿易戦争はイスラエル市場にメリットもあると指摘する。「より多くの資金がイスラエルに向けられることとなるだろう、なぜなら当ファンドはもはや米国に投資しようとするしないからだ。かつては当ファンドからの資金が主として米国に投資され、欧州とイスラエルへの投資が少額にとどまっていたとするならば、今ではイスラエルに投資できる資金がずっと多くなっており、適した投資を見つけることができるだろう。」

中国由来の Brilliance Ventures のマネージング・パートナー Keren Maimon 氏は、ほとんどの場合、ある 1 社が中国市場と米国市場の両方を追求することができないことを認めた。「現在の現実をみると、成長段階にある企業は米国に行くか中国に集中するかを選ばなければならない。これは、あらゆる起業家がなさなければならない戦略的選択である。中国に少しも難しさがないわけではないことは確かだが、中国は世界最大の市場である。」

出典：報道 CTech by Calcalist

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3849111,00.html>

天然ガス 東地中海ガスフォーラムが国際機関に。イスラエルも原加盟国に。

カイロで開催された東地中海ガスフォーラムの新設立式典に、イスラエルのシュタイニッツ・エネルギー相をはじめとする7か国のエネルギー大臣がオンライン参加。同フォーラムにはエジプト、イスラエル、ギリシャ、キプロス、ヨルダン、パレスチナ自治政府及びイタリアが加盟し、エジプトのアル＝ムラ・エネルギー相のほかに各国の大使が同フォーラムの憲章に署名した。加盟に関心を示している国（加盟国としてフランス、オブザーバーとして米国とEU）の大使も同席した。

同フォーラムは、イスラエルとエジプトの沖合で天然ガスの埋蔵が発見されたことを受け、2017年にシュタイニッツ大臣とアル＝ムラ大臣が主導して設立されたもので、これまでは関係国間の対話を促進する役割を担ってきた。今回の式典は同フォーラムを国際機関とするもの。

共同声明によれば、「ガスの生産者、消費者及び運搬者を繋ぎ、天然ガスに関する共通のビジョンを作るとともに構造化されたシステムティックな政策対話を確立するためのプラットフォームとなることを目指し、持続可能な地域のガス市場の発展に寄与し、人々の福利と幸福のために地域のガス資源を可能な限り最大限活用することを目的とする」とされている。同フォーラム内にはガス産業諮問委員会を設立し、官民のビジネス対話を通じてガス資源の事業化を支援する。

シュタイニッツ大臣は述べる。「この素晴らしいガス資源によって、歴史上この種のものとしては初めて、アラブ諸国や欧州諸国との地域協力が可能となる。イスラエル産ガスをエジプト及びヨルダンに輸出する300億ドルの契約は、ほんの始まりにすぎない。」また、同大臣によると、フォーラムに参加することで、天然ガス市場の発展における共通の目標に向けてイスラエルは非常に有利になり、近隣諸国や欧州への輸出に役立つこととなるという。

外交面では、同フォーラムはイスラエルと地域の諸国とのさらなる関係正常化や結びつきに寄与し得るし、既に国交のある国に対するイスラエルのポジションを改善し得るだろう。

しかし、同フォーラム、そして更なるガス探査は、トルコと他の国、とりわけギリシャ・キプロスとの間の緊張に関する争点となる。昨年、トルコは、ギリシャとキプロスが実行支配している東地中海域を自らの排他的経済水域にあると主張し、この海域における資源探査と海軍の活動が地域の緊張を高めている。同フォーラムの声明は、「地域の安定と繁栄を前進させ、信頼醸成と近隣諸国との関係構築に寄与する」としている。また、同フォーラムの目標に合意すれば、東地中海のいかなる国も加盟を申請することができ、またいかなる国際機関もオブザーバーとなることを申請することができるとしている。

出典：報道 The Jerusalem Post

<https://www.jpost.com/israel-news/new-mediterranean-energy-forum-launched-with-israel-as-member-643134>

日イスラエル経済関係記事

投資 2020 年上半期日本からイスラエル・ハイテクへの投資は前年並

Meitar Law Office と IVC Research Center（及び Magenta Venture Partners）が発表したレポートによれば、2020 年のイスラエル・ハイテク企業への日本からの投資は前年並になると予想される。コロナ禍と安倍総理の辞任の影響はなさそうだ。

Meitar Law Office のパートナー Dana Yagur 氏は、日本で長期政権を担った安倍総理の辞任による二国間ビジネス関係への影響はないとみている。安倍総理は「イスラエルと日本の経済関係の発展に大きな貢献をした」と同氏は述べる。安倍総理はイスラエルを訪問し、日本企業に対し、イスラエル企業との協業を検討するよう促した。「過去数年の間に、日本の企業と投資ファンドは既にイスラエルに堅固なプレゼンスと関係を構築しているため、辞任によってイスラエルでの活動に影響が出るとは思えない。」

長年の間イスラエルと日本との貿易は停滞し、しかもそのほとんどはこっそりで行われてきたが、安倍総理のリーダーシップの下、両国経済関係は未曾有の成長を見せている。非常に保守的な日本企業は、アラブの石油供給への悪影響への伝統的な懸念や文化の違いのために、イスラエルと関わることに消極的であった。しかし、2014 年のネタニヤフ首相の訪日と 2015 年の安倍総理のイスラエル訪問によって、2015 年以来、投資件数と金額は急増した。

同レポートによれば、2020 年上半期には、日本の投資家が関与した投資は 18 件 8.53 億ドルあった。2019 年上半期には 25 件 6.60 億ドルだったので、日本の投資家とイスラエルのスタートアップとの蜜月関係はコロナ禍にもかかわらず強まっているようである。

2019 年、日本はイスラエル・ハイテクへの投資額で、一気に英国、中国、独、シンガポール、韓、カナダ、仏を抜き、米国、イスラエルに次ぐ第三位となった。しかしながら、日本からの投資の絶対額は、米国及びイスラエルと比較すると依然として小さい。2019 年、米国の投資家からのイスラエル・ハイテク分野への投資額は 41.63 億ドル、イスラエルの投資家からは 29.61 億ドルだったのに対し、日本の投資家からは 3.79 億ドルであった。IVC Research Center のデータによれば、2020 年上半期は日本の投資家からの投資額は 1.52 億ドルで、米国、イスラエル、英国、オランダに次ぐ第 5 位。米国からは 22.1 億ドル、イスラエルからは 13.8 億ドルだった。

Meitar Law Office のパートナー Yoav Sade 氏によると、日本の投資家は自動車メーカー、金融機関、保険会社、VC 等多様な分野を含んでおり、金融リターンを求める投資家であると同時に戦略的投資家でもある。同レポートによれば、日本の投資家には、東芝、キヤノン、トヨタ自動車、NEC、ソニーのほか、住友商事のような総合商社や SBI やソフトバンクのような投資企業も含まれている。同氏によると、日本の戦略的投資家は、一般的に、「支配権は求めず、自分たちの製品にその技術を使えるようテクノロジーに対する商業的権利を求める。」日本の投資家が関心を有する分野は、一般的に、デジタルヘルス、ライフサイエンス、IT、サイバーセキュリティ、AI、ビッグデータ、フィンテック、自動車技術である。

日本の投資家によってリードされた最近のイスラエル・ハイテク企業への投資の代表例は、2020 年 3 月の NEC による AI チップメーカー Hailo 社への投資、2019 年 4 月のソフ

トバンクから Lemonade 社（イスラエル発の保険会社で、2020 年 7 月にニューヨーク証券取引所に新規上場）への投資、そして 2019 年 8 月の同じくソフトバンクからサイバーセキュリティ企業 Cybereason 社への投資である。最近 Hailo 社は、日本での支社設立の予定を発表した。スマート自動車やスマートカメラ、スマートシティといったエッジの立った製品のために AI 技術を必要とする製品開発を行う既存顧客との関係を強化するためという。

しかしながら、日本はイスラエルの M&A 市場では依然として比較的新参者である。過去 10 年間で、日本企業に買収されたイスラエル企業はたった 10 社、金額は計 23.4 億ドルに過ぎない。2017 年の田辺三菱製薬による Neuroderm 社の 11 億ドルでの買収が、今までのところ日本企業によるイスラエル M&A 案件で最大である。2014 年には楽天が viber 社を 9 億ドルで、2016 年にはソニーが半導体メーカーの Altair 社を 2.12 億ドルで買収している。

出典：報道 The Times of Israel (<https://www.timesofisrael.com/israel-japan-tech-ties-seen-strong-despite-covid-19-shinzo-abe-departure/#gs.g9au90>)

プライバシー技術 サムライインキュベートが QPrivacy 社に投資

サムライインキュベートがイスラエルのスタートアップ QPrivacy 社に投資した。同社が対面で会わずに投資を実行した初のスタートアップで、新型コロナウイルスによって投資プロセスは完全にバーチャルに行われた。

QPrivacy 社の技術により、企業はサードパーティーデータ（外部データ）のアウトフローをコントロールすることができるようになる。AI 技術をウェブ上やモバイルの対顧客アプリケーション上の保護レイヤーに適用することで、企業は顧客のプライバシーとセキュリティを毀損することなくサードパーティーデータとデジタルマーケティングツールを活用することができるようになる。その際、分析とマーケティングのためのデータ・ユーザビリティは完全に保つことができる。

出典：フェイスブック

(<https://www.facebook.com/SamuraiIsrael/>)

自動車 豊田通商が Aurora Labs 社に投資

豊田通商は、車載ソフトウェア開発のサポートツールを提供するイスラエルの Aurora Labs 社の第三者割当増資を引き受け、シリーズ B 資金調達ラウンドにおいて、約 150 万ドルを出資した。本出資は、車載ソフトウェアのソースコード解析と管理を支援するサービス、及び車載関連メーカーのソフトウェアプログラミングを支援するサービスの実用化を目的としている。

なお、今次資金調達自体は、合計 2,300 万ドル規模で、LP グループの CVC LG Technology Ventures 及び Check Point Software Technologies 社の共同創業者 Marius Nacht 氏がリード。豊田通商のほか、ポルシェ、UL Ventures に加え、既存投資家が参加した。

1.背景

自動車の多機能化に伴い、車載 ECU (Electronic Control Unit) に搭載される制御ソフトウェアの重要性が高まるとともに、大規模化・複雑化している。また、普及が見込まれるコネクティッドカーでは、販売後の機能追加による商品性向上や不具合発生時の対応として制御ソフトウェアの更新・書き換えを、OTA※システムを通じて遠隔地から無線通信のデータ送受信によって行うため、従来以上にソフトウェア管理・更新技術の重要性が高まっている。

2.出資の目的

Aurora Labs 社は、従来のバイナリーコードレベルではなく、ソースコード単位でのソフトウェア挙動の自動解析を行い、①不具合や脆弱性を検知、②適合性検証、③OTAによる更新を最小限にするバージョン管理（差分の見える化）を行う技術を保有している。同技術を活用することにより、車載制御ソフトウェアの開発工数低減やソフトウェア更新に必要なデータ量の削減に加え、更新後のソフトウェアに不具合があった場合のロールバック（更新前のソフトウェアへの復旧）を容易に実施できる。

豊田通商は、車載ソフトウェアのソースコード解析と管理、および OTA 対応を進めるために、AL 社の技術を商用化することを目指す。さらに、自動車に限らず、スマートシティにおける IT インフラのソフトウェア更新作業において、AL 社の技術を活用する可能性についても検証を進める。

出典：プレスリリース及び報道 nocamels

(https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/200923_004681.html)

(<https://nocamels.com/2020/09/porsche-toyota-aurora-labs-self-healing-automotive/>)

インシアテック Bambi Dynamic 社がシリーズ A 資金調達。MS&AD ベンチャーズ等がリード。

イスラエルに拠点を置く Bambi Dynamic 社は、自動車保険商品用の新たなプラットフォームの立ち上げとともに、シリーズ A の資金調達完了を発表。資金調達は、MS&AD ホールディングスの CVC である MS&AD ベンチャーズと、既存投資家でもあるイスラエルの最大手保険会社 Phoenix Insurance Company がリード。今回の資金調達で、同社の累計調達額は 600 万ドルとなった。

今回の自動車保険商品用の新たなプラットフォームは、ドライバーの安全スコアや走行距離・時間といった個々のユーザーのデータに基づき、個人ごとに最適のプレミアムを算出する。また、たまにしか運転しないドライバーや多様な乗物にも対応しており、保険会社の IT システム向けであると同時に、完成車メーカー（OEM）や、ライドシェアリングやタクシー呼び寄せ、カーシェアリング、e スクーターや配送といった MaaS 事業者のアプリにも使用することができる。

Bambi Dynamic 社は Phoenix 社と提携し、Phoenix 社の商品改良及びユーザーベース拡大に向け取り組んでいる。その最初の商品が「The Phoenix Drive」で、従量課金制の私用車保険ソリューションであり、Bambi Dynamic 社のプラットフォームの特徴であるパーソナライズ機能を備えており、運転情報をトラッキングし、その特徴にあわせた保険料率を設定する。

同社は 2017 年設立。

出典：報道 techeu 及び CTech by Calcalist

(<https://tech.eu/brief/bambi-dynamic-series-a/>)

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3844656,00.html>)

イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※新型コロナウイルスの影響により、今後、開催中止・規模縮小・オンライン開催への変更が実施されるイベントも予想されますので、参加の検討に当たっては、各イベントのウェブサイト等をご確認ください。

※イスラエル政府は、世界各国・地域を罹患率の低い「グリーン国」と罹患率の高い「レッド国」に分けているところ、10月15日、日本を従来の「レッド国」から「グリーン国」に指定替えしました。これに伴い、日本からイスラエル到着後の14日間の隔離義務は原則として課されません。また、イスラエル政府は、日本を含む「グリーン国」から渡航するビジネス関係者については、イスラエル入国の要望を条件付きで特別に受け付けることを開始しました。詳しくは、こちらをご覧ください
(<https://www.israel.emb-japan.go.jp/files/100105652.pdf>)。

※イスラエルへの来訪計画を立てるに当たっては、当館ウェブページ・イスラエル保健省ウェブページ等、最新情報をご確認ください。

当館 HP 関連情報 https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzen_jouhou.html

イスラエル保健省関連情報 [https://govextra.gov.il/ministry-of-](https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/)

[health/corona/corona-virus-en/](https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/)

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

日程変更！ **AI** FUTURE OF AI (2020年10月27日、オンライン)

AIに関する国際カンファレンス・展示会。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し、今回4回目の開催で、うち1回はベルリンで開催。1,500人の参加者、300社以上のスタートアップ、500件以上のB2Bミーティングを見込む。

<https://www.futureofai.com/>

NEW! **食品** ISRAEL CULINARY SHOW 2020 (2020年10月27～28日、オンライン)

イスラエル輸出機構とイスラエル経済産業省・外貿易管理局が主催する世界最大のフード&ビバレッジ・バーチャル国際見本市。イスラエル企業42社によるバーチャル展示会とオンラインでの個別会議で構成され、最新のトレンドを紹介するトレンドゾーンと一緒に、アリーナでは食品および飲料のマーケットインサイトが提示される。

<https://culinary.israel-expo.co.il/expo/home>

マシンビジョン **ISRAEL MACHINE VISION CONFERENCE (IMVC)**

2020 (2020年10月29日, オンライン)

マシンビジョンに関するカンファレンス。自動車, 防衛, 医療機器, 印刷, ゲーム産業等のアルゴリズム開発者, データサイエンティスト, エンジニア, プログラマー等の参加を想定している。今回 11 回目の開催。

<https://www.imvc.co.il/>

日程変更! **HR INNOV8 WORK** (2020年11月4日, オンライン)

HR 及び未来の働き方に関するイベント。今回第 2 回開催。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し, 1,000 人の参加を見込む。

<https://www.innov8work.com/>

NEW **水** **DIGITAL WATER ISRAEL VIRTUAL EXPO** (2020年11月10~11日, オンライン)

イスラエル輸出機構、経済産業省、水資源省等が主催するイベント。水関連 IoT 企業 30 社のバーチャル展示会等が開かれる。

https://www.export.gov.il/en/Exhibitions/SingleExhibition/exhibitions_digital-water-israel-virtual-expo_eng

日程変更! **SAAS SAAS TIGER** (2020年12月1日, オンライン)

SaaS 分野における成長を目指し, 関係する営業, 製品開発, 投資, ベンダー等を巻き込んだ包括的なイベント。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し, 700 人の参加を見込む。

<https://www.saastiger.com/>

UX **UX SALON 2020** (2020年秋, テルアビブ)

UX デザイナーによるコミュニティである UX Salon の年次イベント。ネットワーキングと講演を目的とする。

<http://2020.uxsalon.com/>

モビリティ **SMART MOBILITY SUMMIT 2020** (2020年(日付未定))

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で8回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

スタートアップ **2021 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT**
(2021年3月9日, エルサレム)

エルサレムのクラウドファンディング型 VC である OurCrowd による年次イベント。OurCrowd の投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2020年は186か国から23,000人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

技術移転 **THE 6TH BIENNIAL CONFERENCE OF ISRAEL'S TECHNOLOGY TRANSFER ORGANIZATION** (2021年3月15日, テルアビブ)

イスラエルの主要大学・研究機関の技術移転機関からなる Israel Tech Transfer Network (ITTN) による隔年のカンファレンス。

<https://www.stier.co.il/ittn/>

医療機器 **THE 2ND MEDICAL DEVICE RESEARCH & DEVELOPMENT SUMMIT** (2021年3月15日, テルアビブ)

医療機器(ハードウェア及びソフトウェア)に特化したカンファレンス。今回は、最先端のR&Dの方法論やツールを特集。

<https://www.stier.co.il/mdr-d/>

医療 **MEDICINE 2041** (2021年4月7~8日, テルアビブ)

未来の医療を考える国際カンファレンス。ノーベル化学賞受賞者など一線の研究者によるセミナー等が予定されている。テルアビブの大病院 Sourasky Medical Center 等が主催。2度目の開催。

<https://thefuturehealthcare.com/>

バイオ MIXIII BIOMED (2021年5月11~13日, テルアビブ)

ヘルスケアやライフサイエンスの将来について議論する国際会議・展示会。今年は長寿命の中でのQOLをテーマに、医療機器、バイオフィーマ、デジタルヘルス、診断分野にフォーカスする。

<https://kenes-exhibitions.com/biomed/>

電機 RAX (2021年6月15~17日, テルアビブ)

電気製品, 制御系, 計装, 自動化, 空気圧工学, 照明システム, エネルギー・省エネに関する展示会。今回が26回目の開催となる。

<https://www.stier.co.il/rax/en/>

モバイル ISRAEL MOBILE SUMMIT 2020 (2021年6月24日, テルアビブ)

モバイルアプリ, ゲーム, アドテックに関する国際イベント。カンファレンスの他に, スタートアップコンテストも開催され, 希望者には1対1ミーティングもセッティングされる。

<https://www.israelmobilesummit.com/>

ナノテク NANO.IL.2021 (2021年10月4~6日, エルサレム)

ナノテクに関する国際カンファレンス・展示会。マテリアル, エレクトロニクス, 光学, 医療, 防衛, 航空, 半導体等の分野を対象に, 企業, 投資家, 大学等からの参加者を想定している。2021年は「3D Meets NANO」という特別シンポジウムも開催される。

<https://www.nanoilconf.com/>

日程変更！本年開催なし！ **REACT** REACT NEXT 2020 (2021年 (日付未定))

JavaScriptのフレームワークであるReactに関するイベント。React Native, Redux, MobX等について議論する。Reactの初心者も上級者も対象とする。750名の参加者を見込む。

<https://react-next.com/>

建設・不動産 TLV CONSTECH & PROPTECH 2020 WEEK (時期未定)

建設・不動産技術に関するセミナー・展示会・野外デモンストレーションイベント。イスラエル輸出国際協力機構と経済産業省が主催し、今回初開催。希望者には B2B ミーティングも設定される。

<https://tlvconprop.com/>

デジタルヘルス **DIGITAL HEALTH.IL** (時期未定)

デジタルヘルスに関するカンファレンス。スタートアップのコンテストも開催される。EY, ARC (シェバメディカルセンターイノベーションセンター), Israel Advanced Technology Industries が主催。過去 5 年では、毎回 700 名以上の参加者があった。

<https://digitalhealth-il.com/>

エレクトロニクス **NEW TECH 2020 EXHIBITION** (時期未定)

ハイテク分野に関する大規模展示会で、150 社以上が展示、数千人の来場者を見込む。対象分野は、クリーンルーム装置、電子光学品、レーザー、光ファイバー、レンズ、カメラ、試験用機器、プリント基板、筐体、電子機械器具、周辺機器、組込みシステム、モーター、ロボティクス、通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/new-tech-exhibition/>

光学 **OPTO TECH 2020** (時期未定)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

インダストリー- 4.0 **INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY** (時期未定)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、インダストリー 4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT, 自動化・ロボティクス, M2M, AI, サイバーシステム, クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

イノベーション **LAHAV EXECUTIVE EDUCATION** (通年, テルアビブ等)

テルアビブ大学のビジネススクール Lahav Executive Education Coller School of Management が実施するイノベーションを学ぶツアー。概ね 1 週間のプログラムで、個別のニーズに応じたイノベーションツアーを実施。

<https://www.lahav.ac.il/en/home>

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

イノベーション **イスラエル イノベーションセミナー ～イスラエルのイノベーションエコシステムから学ぶ、危機をチャンスにする方法～**
(2020年9月9日～10月21日(複数回)、オンライン及び東京)

ミリオンステップス、Pitango ベンチャーキャピタル、Herzog, Fox & Ne'eman 法律事務所が主催する連続ウェビナー。イスラエルの注目のベンチャー34社の他、イスラエルのイノベーションエコシステムの初期から深く携わってきたキーパーソンを招いて実施。

DAY 1 : 9/9 (水) 17:00 オープニング・セッション

DAY 2 : 9/16 (水) 17:00 ヘルステック

DAY 3 : 9/23 (水) 17:00 ニューノーマル時代のバーチャルエクスペリエンス

DAY 4 : 9/29 (火) 17:00 T (クラウド・サイバーセキュリティ)

DAY 5 : 9/30 (水) 17:00 インダストリー4.0

DAY 6 : 10/12 (月) 17:00 リテールテック

DAY 7 : 10/14 (水) 17:00 スマートシティ

DAY 8 : 10/21 (水) 17:00 イスラエルスタートアップとの協業経験を語る (パネルディスカッション)

DAY 1～7はオンラインで開催。最終回のDAY 8についてはARCH (虎ノ門ヒルズビジネスタワー)にて開催、希望者はリアル参加も可能。

<https://www.iis-japan.biz/>

NEW **オープンイノベーション** AT PARTNERS JAPAN ISRAEL OPEN

INNOVATION SUMMIT 2020（2020年10月22日、オンライン）

イスラエルのVCに投資を行うファンド・オブ・ファンズを運営するAT Partnersが主催、在日イスラエル大使館経済部とジェトロ・テルアビブが後援。

革新的な技術で世界を魅了するイスラエルのスタートアップ。近年益々、サイバーセキュリティ、オートテック、ヘルスケア、フィンテックなど多くの分野において、イスラエル発の技術が注目を集めている。

本サミットでは、その最前線で活躍するSOMPOホールディングスから第一人者をお招きし、オープンイノベーションにおける取り組みについて話を伺う。

パネルディスカッションでは、イスラエルを代表するベンチャーキャピタル8社を招き、イスラエル市場の魅力からスタートアップ企業との協業におけるベストプラクティス、そして各分野におけるスタートアップの近況や今後の将来像について、著名なベンチャーキャピタリストに議論してもらおう。

<https://atp-summit2020.peatix.com/>

NEW **オープンイノベーション** **JIIN イスラエル オープンイノベーション**

WEB セミナー～“タルピオット” からみるイスラエル・エコシステム～（2020年10月28日、オンライン）

世界的な経済危機においてもイスラエルへの投資はむしろ増加しており、この変革期においていかになる決定をするかが、今後の日本企業にとっても重要。地政学的リスクから多くの危機を乗り越えてきたイスラエルは、国家ぐるみでオープン・イノベーションを促進しており、投資や人材育成など包括したエコシステムを形成してきた。

そこで本ウェブセミナーでは、イスラエルのエリート育成プログラムである“タルピオット”に焦点をあて、その現場や日本企業とのコラボレーションの可能性を提示するとともに、その人材たちが起業したスタートアップ企業を紹介する。

タルピオットアラムナイでもあるNEC Lab IsraelのTsvi Lev氏からイスラエルエコシステムの現場について、長年、日本・イスラエルビジネスに関わられてきた合同会社グローバルブリッジ代表の新井均氏にイスラエルエコシステムの強みについて、アビームコンサルティングの坂口直樹氏に日本市場におけるイスラエル企業とのコラボレーションの可能性について、一橋大学 名誉教授の石倉洋子氏にイスラエル訪問から見た知見と日本企業への提言について、お話いただく。

また、昨今のDX化の流れにおいて注目されているサイバーセキュリティなど分野のイスラエル・スタートアップ企業も紹介し、セミナー終了後には個別商談会も開催。

<https://israel-keizai.org/events/event/webinar-talpiot/>

NEW **スタートアップ°** **KGAP+ DAY - BATCH 3 DEMO-DAY** (2020年
10月28日、オンライン)

国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) が主催するアクセラレーションプログラム「KGAP+ (Keihanna Global Acceleration Program Plus)」の第3期成果報告会。

国内に加え ATR が連携する世界のイノベーション拠点から選ばれた参加企業が、イノベティブな技術・サービスを披露し、3カ月にわたり取り組んできた日本の大手企業等との協働による PoC やプログラムの成果を発表する。

参加企業は、日本、カナダ、香港、インド、イスラエル、バルセロナの16社。世界をライブでリレー。

<https://keihanna-rc.jp/events/event/kgap201028/>

NEW **スタートアップ°** **KGAP+ ISRAEL CHALLENGE** (2020年11月2
日、オンライン)

国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) が主催するアクセラレーションプログラム「KGAP+ (Keihanna Global Acceleration Program Plus)」の第4期 (Batch 4) に向け、

イスラエルからの参加候補に用意された舞台。KGAP+のパートナーであるイスラエル・イノベーション庁とチャータードグループの推薦を受けたスタートアップが Batch 4 の座を賭け、イノベティブな技術・サービスについて熱いピッチを繰り広げる。

<https://keihanna-rc.jp/events/event/kgap201102/>

NEW **知財** **第1回和歌山県知的財産経営戦略セミナー『海外展開に伴うリスクとその対策』** (2020年11月4日、オンライン)

和歌山県及び一般社団法人和歌山県発明協会が主催。「海外展開×イノベーション×知財」をテーマに中小企業の知財活用の必要性やノウハウに迫るウェビナー。「イスラエルのイノベーションエコシステムと最新動向」及び「イスラエルとビジネス交流を進める際に気にかけておきたい知財の話」についても講演がなされる。

https://israel-keizai.org/events/event/webinar-wakayama_nov_4/

NEW オープンイノベーション **イスラエルを知るセミナー**（2020年11月12日、オンライン）

一般財団法人九州オープンイノベーションセンターが主催。イスラエルのビジネス環境やサイバーセキュリティ、医療・ライフサイエンス、次世代自動車等の個々の技術やビジネスモデル等をイスラエル大使館や専門家、企業等が発信するセミナーを開催することにより、聴衆者に対し、イスラエルへの理解を深め、イスラエル企業との提携や取引等の拡大を支援する。

また、本セミナーを契機に、今後、イスラエル・ミッション派遣等により、企業等とイスラエル及び国内のイスラエル企業等とのマッチングを通じた業務提携・投資・M&A等を支援するもの。

<https://www.koic.or.jp/event/event-1222/>